

# 保育おおさか

平成19年9月1日 第385号

大阪府社会福祉協議会・保育部会  
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

## 地域との連携、 子育て支援など役割の明確化を 「保育所保育指針の改定について (中間報告)」 — 厚労省の検討会

厚生労働省の「保育所保育指針」改定に関する検討会は8月3日、「保育所保育指針の改定について (中間報告)」を発表しました。今後はこの中間報告を受け、さらに検討すべき事項について専門的に調査審議するワーキンググループを設置し、検討会で年内に最終報告が出される予定です。

「保育所保育指針」の改定は、子どもの生活環境・保護者の子育て環境が変化の中で、質の高い養護や教育の機能が求められている背景があります。また、保護者に対しても、就労状況や子どもとの関係を踏まえた適切な支援、さらには地域の子どもや保護者に対する子育て支援を担う役割が一層高まっています。

こうした中で、環境変化に対応した指針改定の必要性が急務とされているものです。改定の概要は以下のとおり。

### （保育所の役割）

保育所はその特性を生かし、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもへの保護者に対する支援地域における子育て支援などを行う役割を担っていることを明確化すべきである。保育士の業務の

明確化や職員間の連携、地域との連携について明示することが必要である。保育の内容に関する対外的な説明責任、個人情報等の適切な取扱いや苦情解決など保育所の社会的責任を明確化すべきである。

年間を通じ計画的に展開されることが期待される。  
（小学校との連携）  
小学校との積極的な連携を図るよう配慮することが求められ、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付され活用されることが必要である。

「養護」と「教育」を明確化し、両面から保育の「ねらい」や「内容」を示すことが有効で、子どもの活動との関わりの中で一体となって展開されることに留意することが必要である。

（保護者に対する支援）  
入所する子どもの保護者や地域の子育て家庭を積極的に支援する役割を果たすべく、子どもや保護者の意向を尊重しながら、保護者の養育力向上に結びつくような支援が求められる。

「保育の内容」については、どの発達過程区分にも共通する基本的な事項を示したうえで、乳児、3歳未満児、3歳以上児など発達過程に応じた特有の配慮事項を併せて示す一方、一人ひとりの子どもの状況や発達過程を踏まえた適切な保育を行うにあたっての子どもの発達の道筋を示すことが必要である。

（計画・評価、職員の資質の向上）  
保育計画の作成及びそれに基づく実践を行うとともに、保育の内容について、保護者や地域住民の意見も聞くなどして自ら評価を行い、その結果を公表することが必要。その評価を踏まえ、研修や自己研鑽を通じて資質向上及び専門性の向上を図ることが求められている。保育の質向上のため、施設長の責務を明確化することが必要である。

今年の夏は「暑い」の一言に尽きました。夏は暑くて当たり前ですが、クーラー無しでは生活できず、体に疲労感が残ったほです。この暑さの中、高校野球が行われました。毎年、大変だろうなと思いつつ、見ております。球児達の一球に懸けるひたむきなプレーは感動を呼び、胸を熱くさせられます。青春時代っていいものだなと改めて思い起こされます。

私の時代、練習中に水を飲むのはバテるのでダメとされた時代ですが、現在は熱中症などの予防のため、逆にこまめに水分補給をしなければならぬとされています。運動中だけでなく、汗をかいたら飲むのが一般的に考えになってきました。

科学の進歩で昔の常識が、今では非常識になっています。でも、普通の水道水でしたが、我慢した後の水の味は今も記憶の中に残っています。



(編集委員 H・M)

(編集委員 M・K)

# さまざまな問題を 抱えた方への支援 を目指す

## 第1回地域貢献事業準備委員会開催

保育部会の地域貢献事業準備委員会が8月8日に開催されました。同部会の今年度新規事業で今回が第1回目。本委員会では今後、保育園の地域貢献のあり方などについて検討されます。

**地域住民が入りやすい相談窓口**

本準備委員会の代表に千里山やまて学園の熊井茂治副部長が選出されました。

委員会では、保育園の地域貢献のあり方として、

保育分野にとどまらず、さまざまな問題を抱えた方への支援を目指し、検討していくことが確認されました。具体的には問題を

抱えた方々への相談を積極的に行い、専門的機関への橋渡しや利用可能な制度へのつなぎ、直接支援などが考えられます。

委員からは「保育園は日中開いているし、地域住民が入りやすい相談窓口となるのでは」との意見が出ました。また、事業推進のためには、より一層の園長の意識改革や市町

村社協との連携が必要であると提案がありました。

**新たな事業や活動への発展に期待**

地域貢献事業に取り組むことで、関係機関・団体との「つながり」が生まれ、新たな事業や活動への発展が期待できます。

また、保育園だけでは解決できなかつた問題が「つながり」を活用することにより解決できるといった可能性もあります。

「老人福祉施設で行われている『社会貢献事業』

に加え、保育園の取り組みによって、約8割の施設が地域貢献事業に参画することになり、かなり大きなスケールメリットが得られるのではないかと事業への期待が表明されました。

今後、委員会では地域貢献のあり方を検討するとともに、保育園で事業推進の核となる職員の養成研修カリキュラムの構築、地域貢献事業に関する実態調査を行う予定です。

実態調査実施時には、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

「様式(フォーマット)」に分類され保育の仕事の隅々まで網羅されています。

地域貢献事業準備委員会委員 (順不同・敬称略)

\* 榎塚台保育園

永野 治 男

(保育部会部会長)

\* 千里山やまて学園

熊井 茂 治

(保育部会副部会長)

\* もみの木保育園

菊池 繁 信

(保育部会副部会長)

\* おおわだ保育園

馬場 耕一郎

\* 保育園平和の園

篠崎 直 人

\* 泉佐野ルーテル保育園

小宮 恵 一

# 「業務に活かす文書化学ぶ」

## 保育サービス提供マニュアル

### 構築セミナーに26園参加

府社協保育部会主催の

保育サービス提供マニュアル構築セミナーが平成18年6月27日から19年7月17日まで全17回の日程で開催されました。講師は、高田システムデザイン代表でもあり、立教大学大学院・放送大学危機管理学科講師である高田一平氏。安全・品質・リスクマネジメントの講演やコンサルティンクを多数

実施されています。チームごとに討議し、マニュアルを作成

このセミナーは「保育サービスの必要な業務を標準化(文書化)する」

「保育サービス第三者評価受審に備え可能な限りA評価を得られるようにする」のが狙いで、質も量も充実したセミナーとなりました。

参加したのは26園。4チームに分かれ、高田氏が作成されたマニュアルについてチームごとに討議。それをたたき台に自園のマニュアルを作る形に進められました。

業務の標準化は①業務の質や範囲のばらつきをなくす②仕事を目に見える文書にすることで現在の状態を把握、改善点を探り次に繋げる③新入教

育のために役立つというのが目的です。文書化する際のポイントは次の3点――

「読めますか(適切なボリウムで)」

「わかりますか(留意点をしっかりと書き納得して仕事ができるようにする)」

「様式(フォーマット)」に分類され保育の仕事の隅々まで網羅されています。

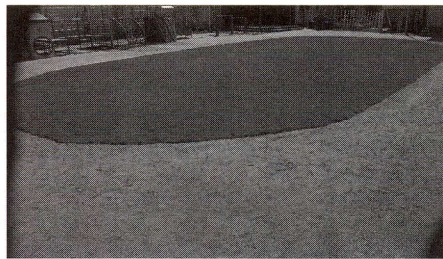
この「保育サービス提供マニュアル」を軸に、第三者評価基準にリンクした形で付随した「教育管理」「事故対応」「苦情対応」「食事提供」「園庭遊び見守り」「衛生管理」「受け入れ引渡し」などの14の関連規定・要領を作る作業を進めました。

その内容はチームごとに検討するほか、別のチー

ムのものも発表しあいます。このため、自園のものを作成する際、他園のサービスの方法を教わったり、他の様式を参考にしたりできます。選択肢が多くなっただけでなく、知識の幅も広がり、お互いの内容が深まったと思います。

用意したファイルはみるみるうちに増えました。このセミナーで学んだ豊富な内容を無駄にしないよう、これを機に一層保育の質を高めるべく活かしていきたいと思えます。

(編集委員 K・T)



Jリーグ用の芝を使用



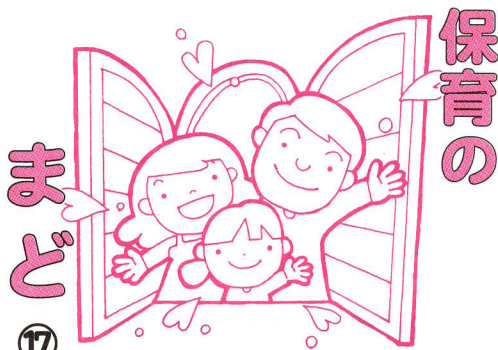
改修後のトイレ

当園は昭和55年に開園し、あつという間に30年を迎えようとしています。建物は開園当初のままです。設備も古くなってきています。建て替えをするにも補助金が減額され、大規模修繕補助金もなかなかいただけない状況で、

大きな自己資金が必要となりません。そこで5年前から計画を立て、順次改修を実施することにしました。まず水周りのトイレです。小便器は自動洗浄、大便器は温便座に、手洗いも自動にし、もちろん乾式

特に芝生ですが、本来芝生を植えるると4ヶ月ほどは養生期間として、子どもたちを芝生で遊ばせることは出来ません。近くの造園業者に相談したところ、Jリーグ用の芝を土付きで植えると4日後には使用出来るという。その芝を用意してもらい無事芝生化を完了することが出来ました。子どもたちは芝生の上で倒れて

暖房に、次にすべての部屋の冷暖房機取替えと進み、本年度は保育園の扉の改修、園庭のフェイルド部分の芝生化で予定した計画のすべてが終了しました。



### 「くさべ保育園」

#### 計画的に保育環境を改善 —園庭芝生化や床暖房など



17年前から取り組んでいる竹馬

に変更しました。

保育室は2才までは床

もげがをすることなく楽しく過ごしています。17年前に鶴見緑地で行われた花の万国博覧会の時、保育部会で行われた竹馬行進に参加させていただけましたが、その日以来、当園では竹馬に取り組みんでいます。竹馬は、平行バランスはもちろん必要ですが、長時間乗る

には集中力が欠かせません。運動会で竹馬行進が終わると、年長児にグッと集中力がついたことが分かります。より良い保育環境を目指し、また子どもたちのより良い成長を願って、これからもいろいろな試みに取り組みたいと思っています。(H・I)

## ◆お知らせ◆

### 第41回全国保育士会

#### 研究大会

平成19年10月18日(木)～19日(金)の両日、徳島県の「アステイとくしま」などを会場に第41回全国保育士会研究大会が行われます。

- ① 3歳未満時
- ② 子ども
- ③ 発達と環境(3歳以上児)
- ③ 気になる子、障害のある子への保育
- ④ 保育所における食育
- ⑤ ひとり親家庭への支援
- ⑥ 子ども虐待への対応
- ⑦ 地域子育て支援と、保育所における地域福祉の推進
- ⑧ 専門職としての責務。

現在、保育園では一人ひとりの子どもの最善の利益を尊重し、その発達を保障するため、24時間を視野に入れた家庭や保護者とのパートナーシップによる保育(養護と教育)と、地域の子育てネットワークづくりを着実に進めていくことが社会的要

参加費は会員が12,000円、その他13,000円、学生が5,000円。申込締切日は平成19年9月14日(金)。

2日目は各県・市からの分科会発表や特別分科会が開かれます。分科会の内容は以下のとおり。

① 子どもの発達と環境

訂正とお詫び  
7月号(第383号)3面「保育のまど⑭」は「保育のまど⑮」、8月号(第384号)3面「保育のまど⑭」は「保育のまど⑮」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

# ブロックだよ

## 北大阪ブロック

お腹も心も満たされた中国料理マナー研修

恒例の北大阪ブロックのマナー研修会が7月26日、ホテルニューオオタニで行われました。大好評のこの研修会には今年も145人が参加。亀井会長のご挨拶の後、



各テーブルに分かれ交流

同ホテルのサービス課の清原真氏を講師に中国料

理のマナーについて研修しました。

最初に中国料理と西洋料理の席順の違いについて説明があり、西洋料理では奇数組が1つのテーブルに座り、ご夫婦は対角線上に座ること、逆に中国料理では偶数組、ご夫婦は隣同士で座ること。ターンテーブルの大皿の料理は、まずホストの方が毒見として最初に口に、右回しにテーブルをターンさせるそうです。テーブルに置いてある大皿は動かさず、スープは

音をたてないように飲む。

中国料理ではレンゲの持ち方など特に固苦しいマナーはなく、みんな楽しんで食事するのが一番のマナー。その日は文字通り、どのテーブルからも笑い声が絶えず、参加者は交流を深めお腹も心も満たされた楽しいひと時を過ごしました。(中振敬愛保育所 M・S)

## 泉州ブロック

「人を育てるわらべ唄」を大切に

清水文子先生がこの7月で保育現場を退かれたと聞きました。先生は府立夕陽丘保育所(現・四天王寺夕陽丘保育園)の頃から保育部会・保育士会常任委員として、何より本紙編集委員として組織活性化のためご尽力いただいた方です。仲間内では「文(ぶん)ちゃん」と親しまれています。先生はどちらかとい



うと、表に出ることなくいつも舞台裏から組織を支えてくれる心強い存在です。第一期、その力量を請われて授産施設の施設長として支援費制度下の基礎固めをされ、数年前に再び民間保育園へ戻ってこられました。今後は悠々自適の日々を過ごされるようですが、今後ともよろしくご指導賜りたいものです。(M・M)

## 保育園をたずねて

354

寝屋川市

### 第二アカシヤ保育園

アットホームな園生活を

アットホームな保育園というのが特色です。

JR学研都市線、東寝屋川駅から徒歩2分。市内の中でも比較的的自然に恵まれた地域に位置しています。「利用しやすく、地域に密着した保育園」と前理事長の熱意から姉妹園のアカシヤ保育園設立6年後の昭和59年に開設しました。



第二アカシヤ保育園は定員60人、全4クラスで、家庭の居心地を思わせる園生活を毎日楽しく過ごせる遊びも工夫、園庭にあるロッククライミングの遊具で遊んだり、時には姉妹園と行き来し、サッカーの交流試合を行ったりもしています。(編集委員 J・F)

8月4日(土)、貝塚市福祉会館で滋賀わらべうたの会の平林智子先生による「人を育てるわらべ唄」の研修会が行われました。わらべ唄というのは、その時だけ唄うのではなく、生きていくために唄うのだという事を教えて頂きました。昔はわらべ唄をうたい子どもたちの成長を見てきたそうです。普段何気なく子どもたちに行っている「あがり目さがり目」の唄、これは斜視予防の

## 泉州民間保育士会研



わらべ唄で手遊び

ため、1歳半からの遊びの中で目を合わせて注目し、「目をじつと見る」ということを覚えさせるため。また、3歳からは目をそらしたら負けというゲームを加えることで、悔しい、勝ちたいという気持ち育て、勝ち喜び

を味わうこと。このことはとても大切だと教えて頂きました。社会人として、人として「育てる遊び唄」がわらべ唄です。昔から伝わるわらべ唄は、日本の伝統の大切な唄。これからも伝えていくべき唄として、日々の保育に活かしたいと思いました。(なかよし保育園 Y・M)

発行所  
大阪府中央区中寺1丁目1-54  
大阪府社会福祉協議会  
保育部  
大阪府保育協議会  
TEL (06) 6762-9001  
発行人 男 勲  
永野 治  
宮 武 編 集